💡 **小学校（低学年用）インフォームド・アセント文書作成の手引き**

* 様式３（同意説明文書）の内容を、対象年齢に合わせた文章のレベルに調整して作成する。
* お手紙や絵本仕立てにしたり、マンガのように吹き出し等をつけて、子どもに直接話しかけるイメージで作成し、子どもがアセント文書に興味を持てるように工夫をする。
* 子どもが読めるように、柔らかいフォントや文字の大きさ、行間、読み仮名にも配慮する。
* 専門用語は、できるだけやさしい表現に置き換えるよう、努力する。
* 子どもに読めても、全てを理解することはできないと思われるので、説明者が必ず一緒に

口頭で補足する前提で作成する。

* 研究の流れや、特に重要なポイントは絵や図で見せながら、説明者が口頭でも補足出来るように配慮する。
* 研究目的に合わせて説明ができるよう、ひな形の文章は適宜編集する。

💡 **フリー画像をダウンロードして活用する**

* 研究目的ごとに、説明イラストは異なりますので、自由にレイアウトください。

キーワードで検索して、ダウンロードした説明用画像を、適宜挿入していただいて結構です。

※予めフリー画像サイトの規定および著作権等をご確認のうえ、自己責任にてご使用ください。

💡 **対象年齢に応じて漢字・かなを確認するヒント**

* 小学校で習う漢字　チェックツール　ORANGE-FACTORY (オレンジ工房)  
  <https://orange-factory.com/tool/kanjicheck.html>

学年を指定して、その学年までに習っていない漢字を強調表示します。  
どなたでもご自由にご利用ください。（HPより）

* UDトーク®（音声認識アプリ）　Shamrock Records,inc

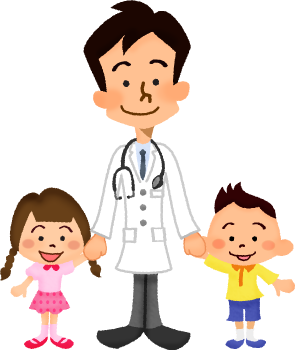
<https://udtalk.jp>

スマートフォンのアプリストアから「UDトーク」を検索してダウンロード

⇒トークを始める→設定→漢字かな日本語設定→対象年齢に設定→アセント文書を読み上げる  
※インフォームド・アセント作成等でUDトークは基本的にどなたでも無料でご利用いただけますが、官公庁、地方自治体及び教育機関は「アプリ導入プログラム」の申請が必要です。

**ひな形**※青字の部分を申請しようとする研究に当てはまるように書き換えて、説明書を完成させてください

**小学校低学年用**

（ちゃん）へ

・・・・・・・・・・・・・・・ための

の　おつだいの　おねがい

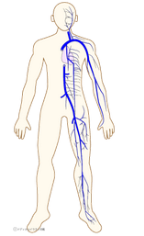
|  |
| --- |
| はじめに  このおには、（例：〇〇の）から、・・(例：●●の)・・について、・・（例：の なおしを つける）・・/の（する）ための おつだいの おねがいが かれています。おのと いっしょに よく んで めてから おを　ください。(\*´▽｀\*)b |

以下の項目で該当しない箇所は適宜削除・変更・追記し、様式３（同意説明文書）の内容と

合わせてください。

|  |
| --- |
| **１．●●の** |

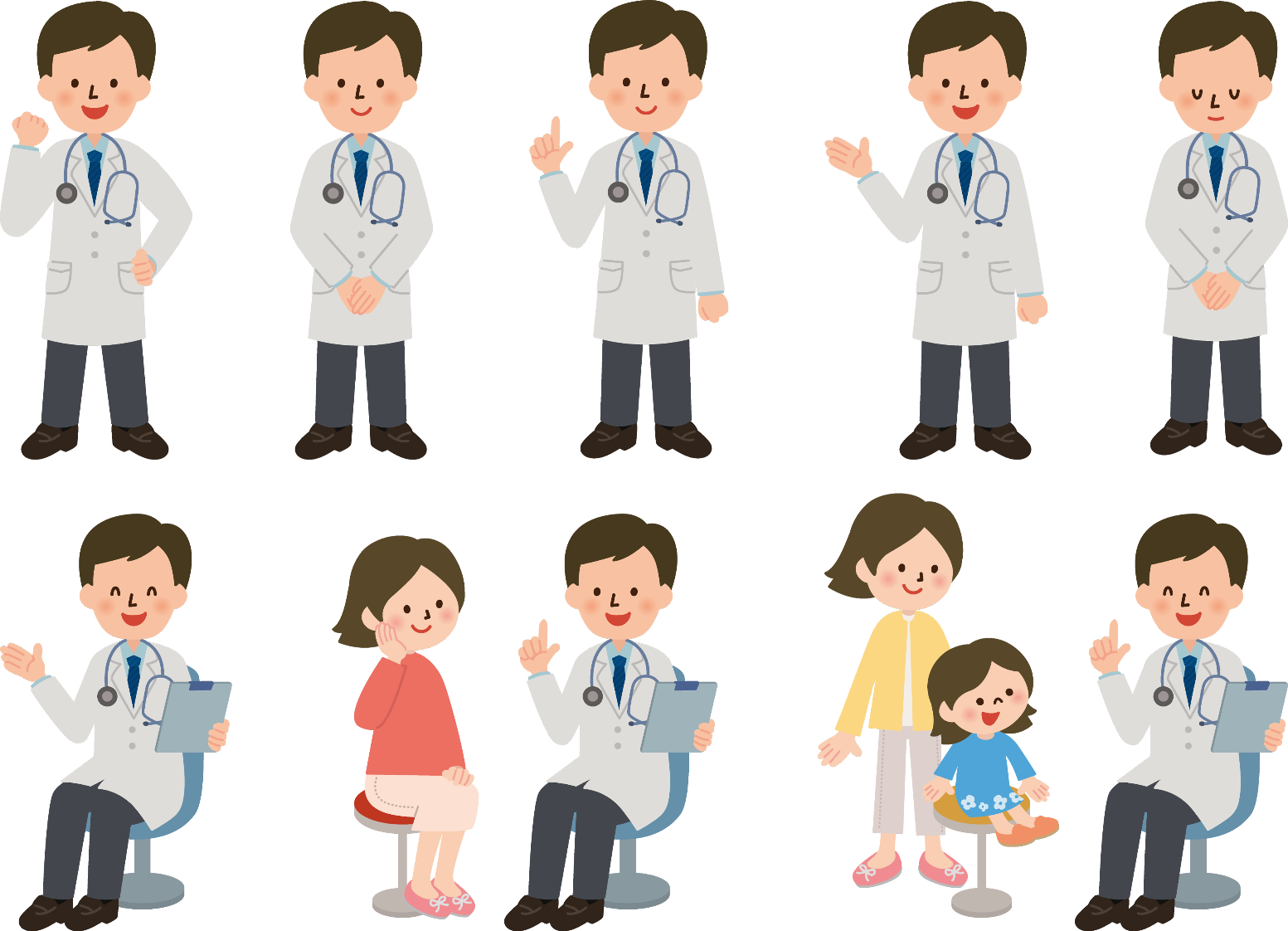
　●●は、　の　なかにあり、　★・・・・・　はたらきを　しています。

●●が　・・（例：きずつく）と、　は　に　なってしまうことがあります。　●●の　には、　なおしが　まだよくわからない　ものや、　もっとよい　（のなおし/）が　あったら　いいなと　われているものも　あります。

★=できるだけやさしく、分かりやすく記して下さい



|  |
| --- |
| **２．●●の　を　べている の　たち** |

あなたが　を　なおそうと、　がんばっている　ように、　じ　を　なおそうと　がんばっている　が　たくさんいます。

●●の　おさんは　なおしが　まだ　よくわからない　や、　もっとよい　なおしを　さがすために、　が　なぜこるのか、　どうすれば　がなおるのか、　おをむと　どのくらい　くなるのか、　みんなが　おを　して　えるのかを　べるために、の　おの　ほかに、「」という　おもしています。

たちは、あなたのように　を　なおそうと　がんばっている　かんじゃさんや、　かんじゃさんの　にたちたいと　ってくれている　たちの　けがなければ、　の　なおしを　つけることは　できません。

そこで、 から　おねがいが あります。　●●のを　なおすほうを　さがす　の　おつだいを していただけませんか。

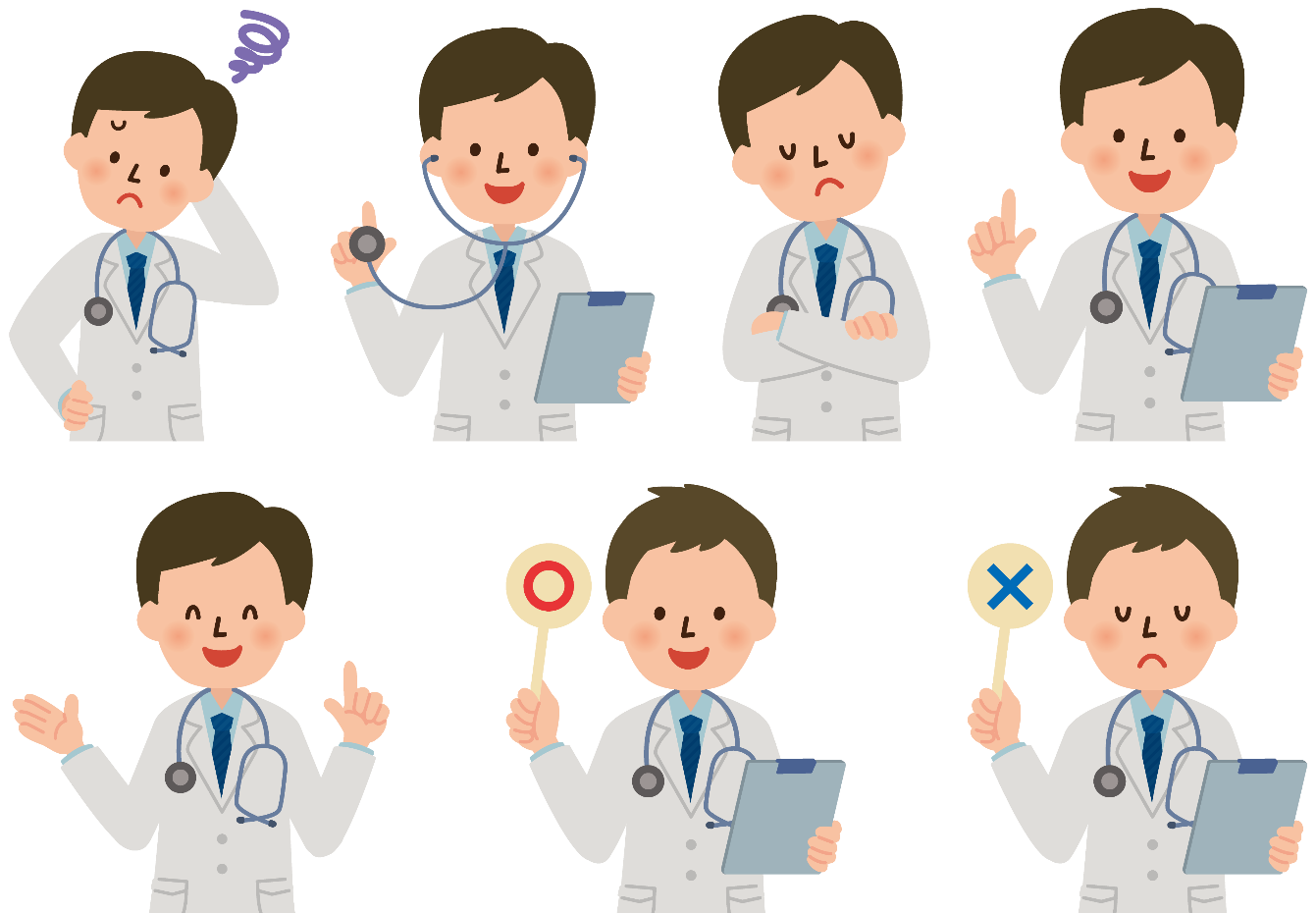
|  |
| --- |
| **３．●●ってなあに？　《説明不要の場合は削除》** |

（研究の方法・治療法・薬に関する説明など。）

・（たべもの・おもちゃ・遊びなどを例にする）・・・・を　っているところを　えてみてください。　は、わたしたちのも、この・・・のような　・・・・・・・・（で）できています。

ほとんどの●●は、　・・・・・・はたらきが　・・・ます。　たとえば、・・・・でした。

ですが　のたちは、　・・・・・した●●に、「●●」とよばれる（こと/もの）を・・・（し）て　・・・・できるように　なってきました。

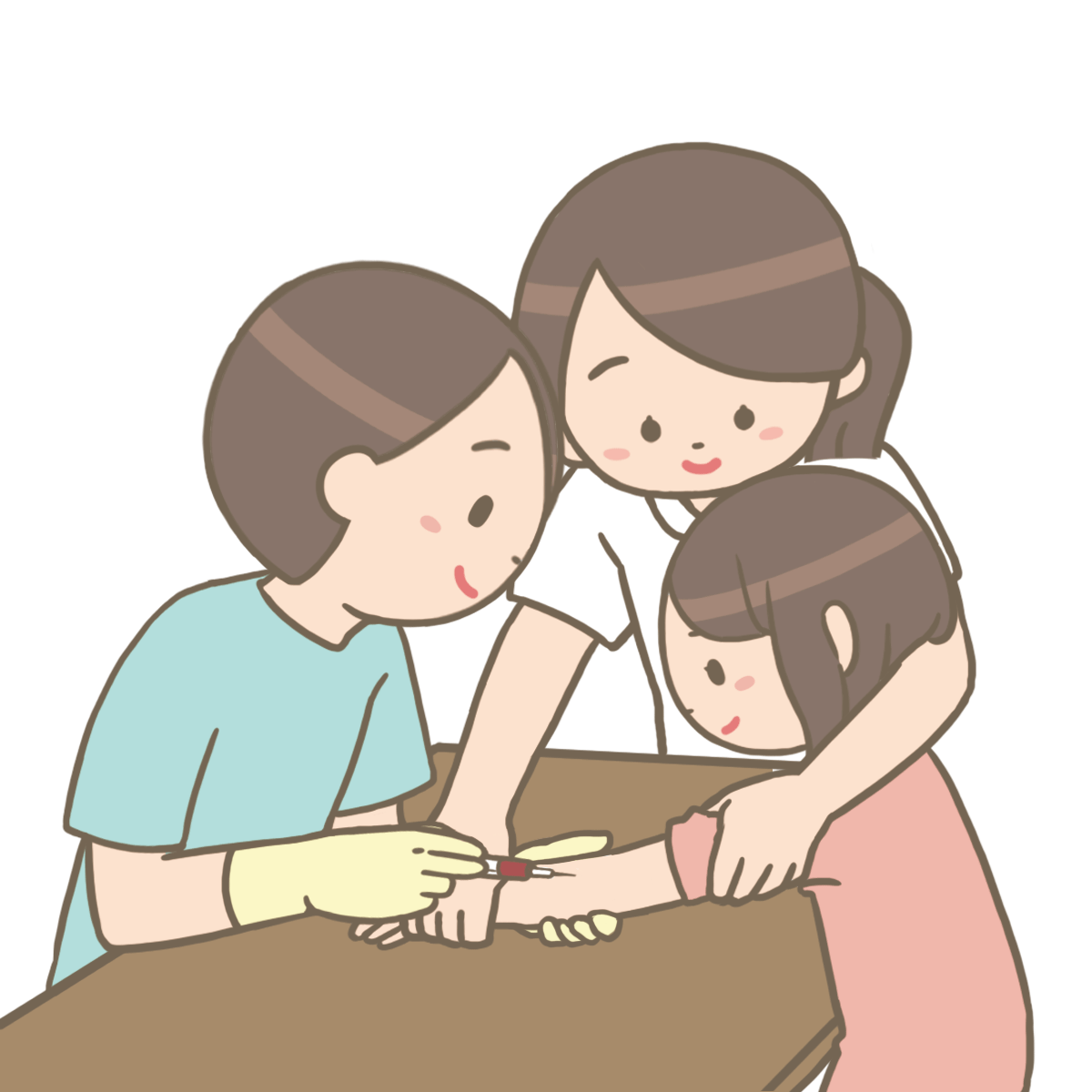
はじめの・・・のおで言えば、・・・・は、・・・・・できませんでした。しかし、のが　・・・　という・・・に　・・・（す/させ）ると、・・・・・・・ことができるのです。

このように　●●を　・・・・・にして、　がどうして　になるのか、　そのの　なおしを　べるために　かんじゃさんの　で　られているものを　けて もらって　ったり、　しいおが　きく か どうかを　たしかめる ために　「」を　しています。

|  |
| --- |
| **４．おつだい は、どんなこと を するの？** |

おつだい　してほしい　「」は、こんなことを　べます。

①かんじゃさん（から/に）・・（けつえきを/●●という　おをんで）いただいて、　②その（けつえき/お）から・・・をして、

③・・・を　●●などの　・・・（に）することで、

④なおり にくかったり、なおしが わからない　●●のが、　どうして　こるのかを さがしたり、 の　なおしや、　おの　ききめを　べます。

|  |
| --- |
| **５．あなたに　おねがいしたいこと** |

おねがいしたいことは、　（●●を　いつもより　めに　とらせてもらい/●●という　を　んでもらい）、　たちが　をなおす ほうを　べるために　（わせて/の　じょうたい を　えて）　いただけませんか。

《　で　すること　》

・やくそくの　にちを　めて　で（●●の）　けんさや　しんさつを　＿します。

****・いつもで　・・・で●●を（とる/む）ときに、に わせて もらうための●●（）を　・・・（採取量を日常生活用具に例えて表現する　例：スプーン1ぱい　から　4はい　くらい　めに）●●を　（とり/み）ます。

《　おで　すること　》

・＿＿＿＿のに、おを　＿こ　みます。

|  |
| --- |
| **６．●●を（とる/む）の おねがい** |

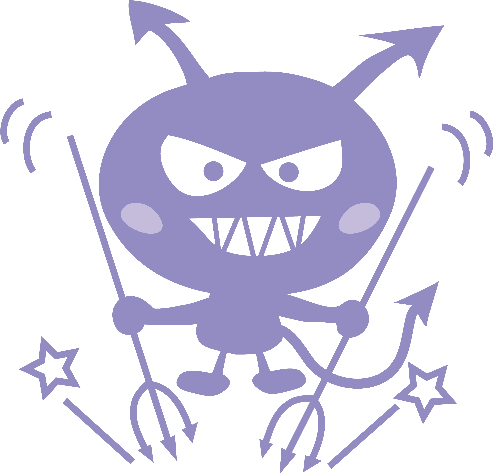
（採取する試料・方法・使用器具・痛みはあるか・全部で何回採取するか・来院回数などを伝える）

　●●を（とる/む）ときには　（部位）から　（（器具名）をって/おで）　（とり/み）ます。　（（器具）の　XXを　（部位）に　・・ときは、　・・っとして/おは）　（いたい/にがい）かも　しれません。　（けれど、　（部位）を　うごかすと　XXが別のところに　ささって　あぶないので、　（部位）は　うごかさないで　ください。）

また、●●を　（とって/んで）いるに　だるく なったり、　もちが わるく　なったり するかも しれません。 そんな は　すぐに　や　かんごしさんに　えて ください。

（※必要に応じて）この　おつだいの　ために　へ　＿　きてください。

|  |
| --- |
| **７．●●を　（とった/んだ）の　おねがい** |

****（注意事項などを記載して、イラストも載せる）

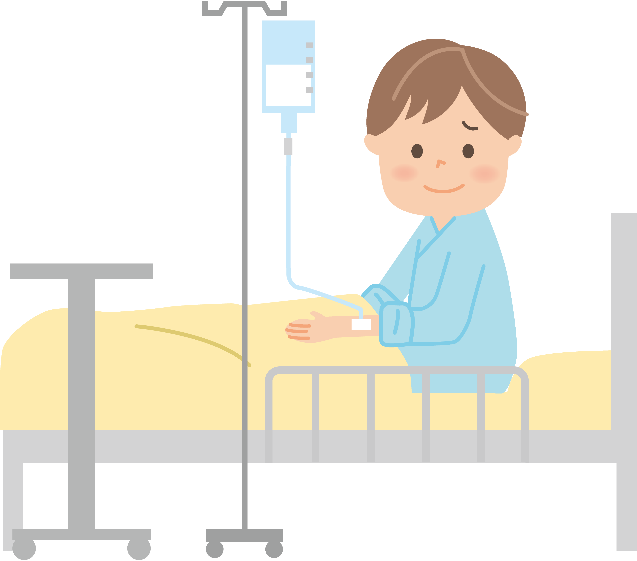
●●を　（とった/んだ）　（ところ/）は、　（ひっかいたり　しないように してください。　ひっかいた ところ　から、　ばいきんが　って　いたくなったり、　きずが　なおるのが　おそくなることが　あります。/おで　しずかに　すごしましょう。

|  |
| --- |
| **８．あげた　●●や　●●は　のやくに　つの？** |

　あなたから　もらった　●●を　べて、　すぐに　あなたの　が　なおるように　なるわけでは　ありません。

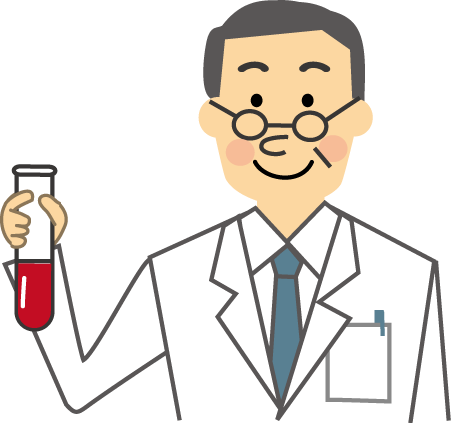
　けれど、あなたから　もらった　●●は、　の　が　●●の　を　べて、　を　なおす　ほうを　さがすことの　大きな やくに たちます。

そして、　もしかすると、　いつか　あなたの　を　なおす　方ほうが　わかったり、　じ　で　こまっている　たくさんの　かんじゃさんを　たすける　ことが　できる　かもしれません。





|  |
| --- |
| **９．の おつだいがわったら、あげた●●はどうなるの？** |

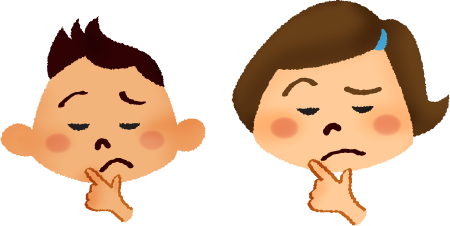
　あなたから　（おしえて）もらった　●●は、　とても　な　ものなので、　いつもは　に　しまっておきます。そして、で　ひつように　なった　ときに、　います。

|  |
| --- |
| **１０．あなたの　ちを　おしえてください。** |

　おのも、　も、　あなたの　ちを　にしています。

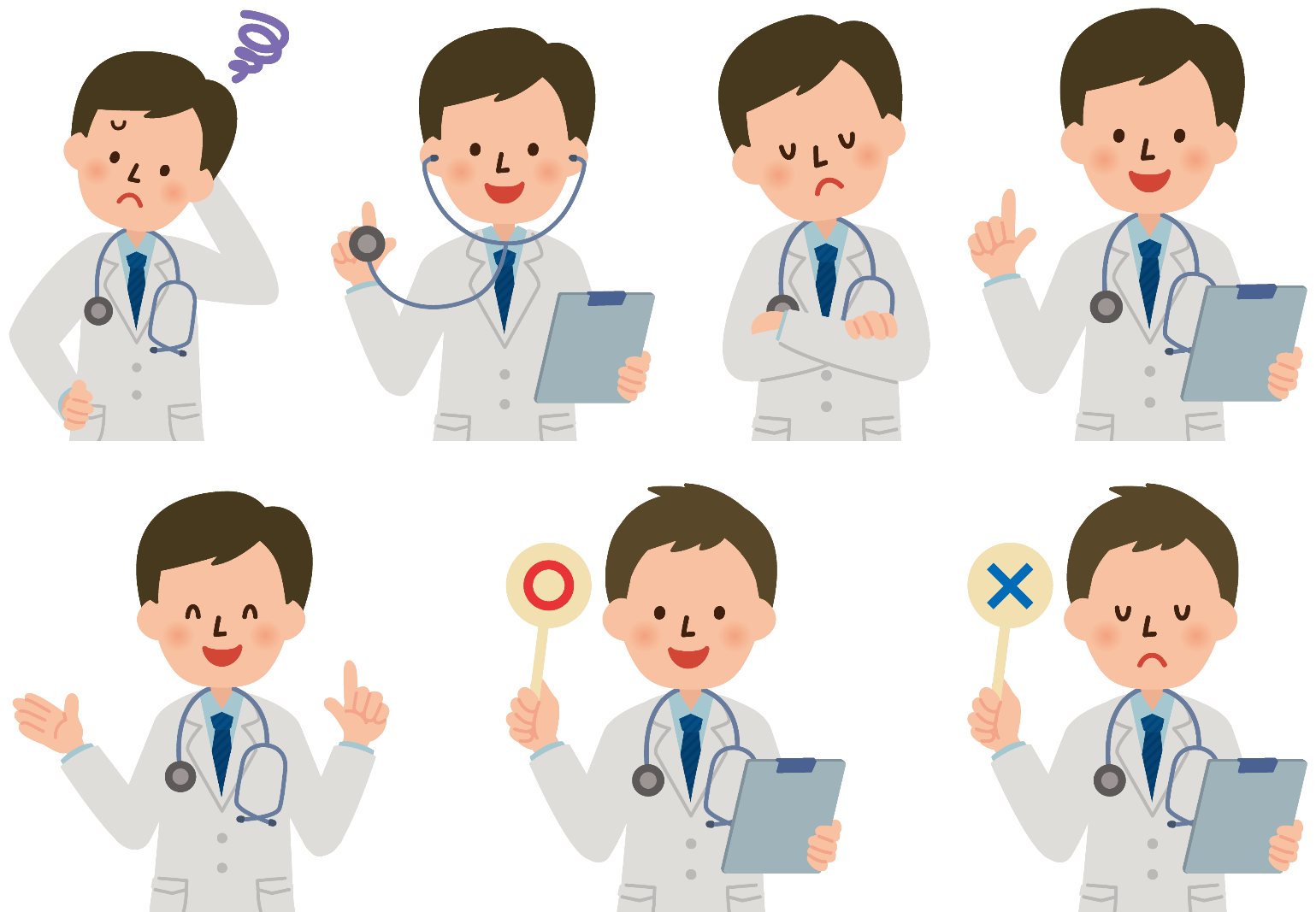
このの　おつだいを　すること　も、　しないことも、　どちらでも

すきなを　えらんで　めて、　おのおをください。

　おつだい　してもいいと　めたに、　やっぱり いやだな とっても　かまいません。　そのは、　おのや　おさんや　かんごし さんや　まわりの　のに、 すぐに　えて　ください。 この　おつだいを しなくても、おさんは　を　みてくれますから　　してください。

|  |
| --- |
| **１１．こまった　ことがあったら…** |

　こまったことや、　わからないことが　あったら、おさんや、　かんごしさんや、　おのに　いつでも　いてください。

【の　と　】

|  |  |
| --- | --- |
| の | とうほう　●● |
|  |  |
| の |  |
|  |  |

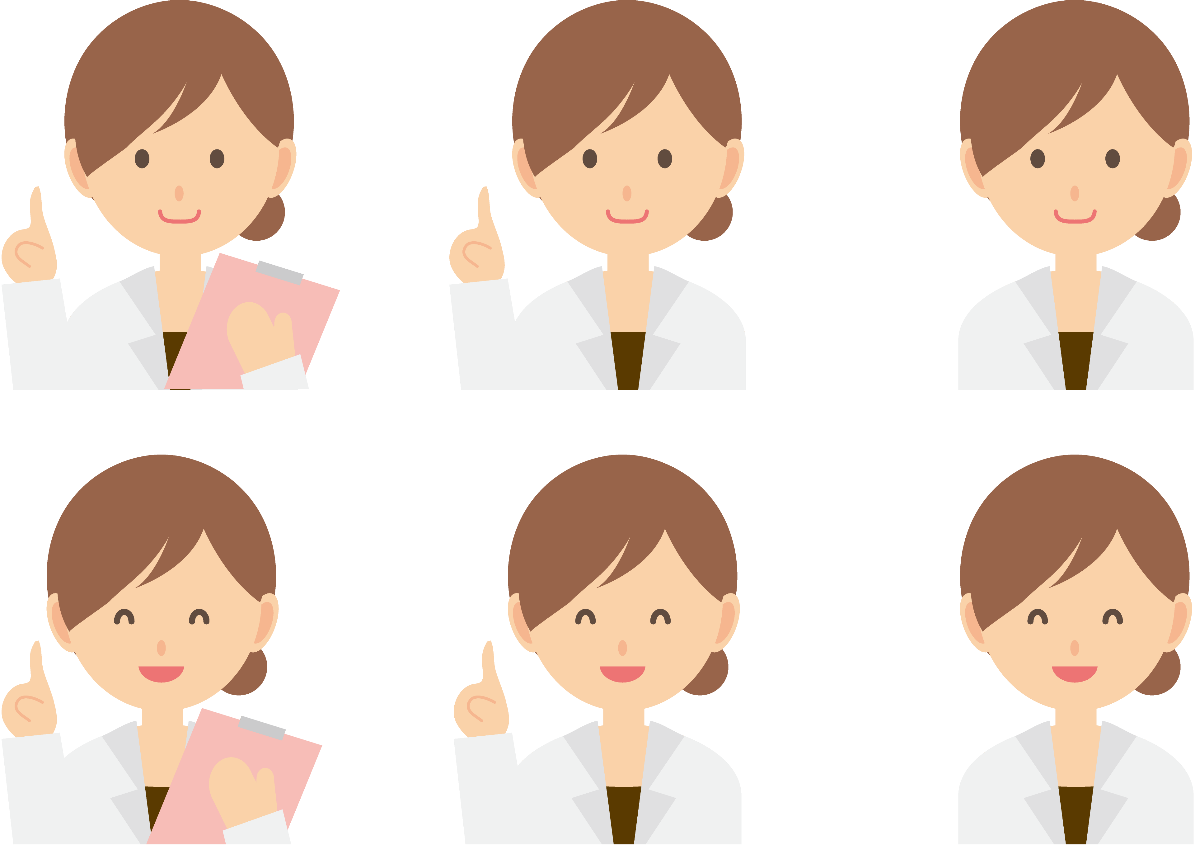
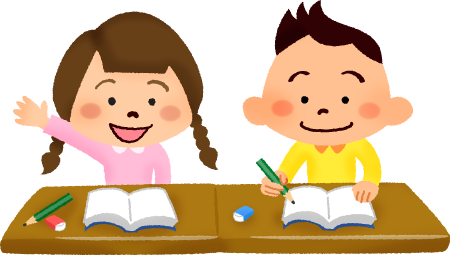
|  |
| --- |
| **１２．●●●●の　の を　つだっても　いいと　ったら** |

●●●●のの を　つだっても いいとったら、

に おを いて、おの人や、のに わたして ください。

ここまで んで くれて

どうも ありがとう！

　ほかん

「・・・」について　を　きました。

の　おつだいを　します。

めた：

：

をした

をした：

：

をした

をした：

：

病院　ほかん用

**てっかい**

「・・・」について　の　おつだいを　やめます。

めた：

：

をした

をした：

：

をした

をした：

：